

(様式第 2 号)

SDGs 達成に向けた宣言書 (要件 1)

令和 6 年 12 月 1 日

所在地 山梨県南都留郡山中湖村平野 508-687
企業名 飛遊人
代表者 茂出木 一真

当社は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を下記のとおり宣言します。

記

SDGs 達成に向けた経営方針等

お客様、社員が安心して過ごせる宿を目指すことは、SDG's の達成目標である環境・社会・経済の目的と同じくすること。
私たち一人ひとりが取組について理解し、役割を果たしていくことにより、SDG's の達成に貢献していきます。

3 側面 (主な分野にレ)	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況	
			登録年月日: 令和 4 年 12 月 1 日	
✓環境 □社会 □経済	環境に配慮したアメニティの利用 (グリーン購入法の対象製品等)	使い捨てプラスチック 製品使用削減 現状: 30% →2030 年: 70%	施設内で使用する アメニティの 50% 以上をエコ製品に 変更し、プラスチック 削減の達成を継続中	(進捗率) 50%
□環境 ✓社会 ✓経済	体験プラン作成 (宿泊だけでなく、子供の職場体験 や、クラフト体験、ジビエを通じた 食育体験プラン等)	全宿泊売上の向上 現状: 未作成のため 0% →2030 年: 20%	体験プランを考案 した、認知度について SNS や地域ネットワークを活用した広報活動を強化する必要あり	(進捗率) 10%
□環境 ✓社会 ✓経済	ジビエの消費拡大や地元食材の使用率向上	・全仕入食材の割合 現状: 20% 2030 年: 50% ・ジビエメニュー増加 現状 2 品目 2030 年→7 品目	ジビエメニューを導入した宿泊者向けディナーが人気を博し、地元食材の使用率は 35%を達成。地元農家やハンターとの連携も強化	(進捗率) 35%

2030年の目指す姿

狩猟夫婦が営む宿泊施設の特徴を活かし、命を無駄にしないSDG'sへの取組を重点的に、ジビエを食べ
て使って体験して、身近なところから環境問題への意識改革をしていき、鳥獣被害から農山村を守り、
地域の活性化に貢献し、人と自然をつなげる懸け橋になることを目指します。

【記載留意点】

- ・上記については「SDGs達成に向けた経営方針等」を記載いただくとともに、（様式第3号）「SDGs達成に向けた取組チェックリスト」（要件2）に記載いただいた取組を踏まえ、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は、原則として数値目標を記載してください。
- ・「環境」、「社会」、「経済」の**3側面の全てについて**重点的な取組を記載してください。該当する分野にチェックを入れ、取組が複数の分野にまたがる場合は、複数にチェックを入れてください。
- ・重点的な取組及び指標の進捗状況については、新規登録時は記入不要です。